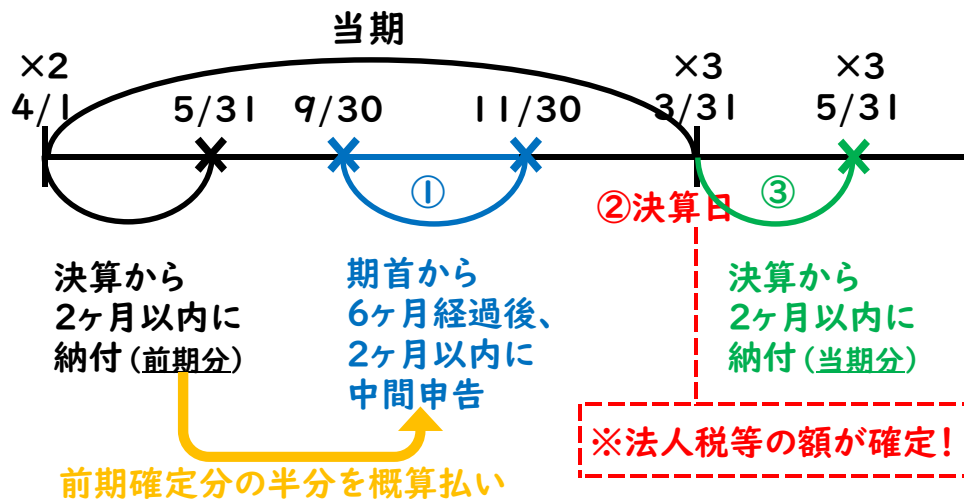


法人税、住民税及び事業税の会計処理 《決算整理》

- 法人(会社)も個人と同様に様々な税金を支払わなければならないが、株式会社の利益に対して課税される税金には、国に対して支払う()や、都道府県や市町村に対して支払う()、()などがある。また、これらは総称して()という。
- 法人税等には、()という制度が用いられており、決算で納付額が確定する前の事業年度の間で、申告して納付することがある。これを()という。
- 中間申告には、前期納付額の半分以上を()として申告する方法や、()による申告で納付する方法がある。
- 《法人税納付までの流れ》



仕訳の練習問題

- 下記の取引について、仕訳を行いなさい。
- 中間申告の時期となったため、法人税 50,000 円、住民税 15,000 円および事業税 25,000 円を現金で納付した。
 - 決算において、法人税等が 200,000 円で確定した。
 - 法人税等の未払い分を現金で納付した。
- () ()
 - () ()
() ()
 - () ()

